

Shida Scholarship Program

2025 年度 募集要項

【本奨学金制度の設立の背景及び目的】

京都大学工学部卒業生で米国にて研究を続け博士課程を取得した後、米国に残り高分子科学 (Polymer Science) の分野において大成功を収めた故志田光三氏 (1935-2018) の遺志を継いだご家族とご本人のご意向に基づき、志田氏の母校である京都大学工学部、大学院工学研究科に在籍する学生及び研究者が、米国で更なる高度な研究を継続させることを目的として、本奨学金制度が設立されました。本奨学金制度は、故志田氏のご家族からの寛大な寄付により成り立っております。(故志田光三氏の功績等の詳細は下記のリンクから)

www.kyodai-collaborative.org/wp-content/uploads/2023/10/Dr.-Mitsuzo-Shidas-biography.pdf

【求める人材像】

奨学生として、次に掲げる点を有する学生。

- ・研究内容が明確に決まっており、北米及び英国の大学や研究機関での研究を継続することで、高度な成果を出すことに高い志を有している者
- ・将来的に日本やアメリカを中心とした国際社会で、当該研究の分野において活躍が期待される者
- ・現地で築いたネットワークを生かしつつ、京都大学及び京大コラボの発展に寄与し、同大学と同組織との関係を保持し続ける意思がある者

【対象の学生・留学の種類及び概要】

京都大学工学部または大学院工学研究科の在学生又は卒業生を対象に、下記の通り三種類の留学タイプ(それぞれに留学期間、採用人数、奨学金の額を設定)を用意しています。

<研究型>

① 博士後期課程修了予定者 (ポスドク研究)

翌年 3 月までに、博士後期課程を修了予定であり、修了後、ポスドク (博士後研究員) として北米・英国大学の研究室や研究機関での研究留学を志望している者。

② 博士後期課程在籍者 (共同研究)

博士後期課程在籍中に、北米・英国の大学等研究機関で共同研究を行うことを志望している者。

<Ph.D.取得型>

③ 修士課程（学士過程も可）

翌年3月に修士課程を修了又は学士課程を卒業予定であり、修了・卒業後、北米・英国の大学で自身の研究を引き続き継続し、博士学位の取得を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、既に留学を開始し、北米・英国の大学で現在研究を続けている者や本学を卒業・修了し、現在京大で研究を続けている者も対象とする。

【留学期間、採用人数、奨学金の支給額】

詳細は以下の通り。なお、支給額は生活費・研究費・授業料・渡航費等を含みます。

	ポスドク研究	共同研究	Ph.D.取得型
支給期間	原則2年まで	原則1年まで	原則2年まで
採用人数（予定）	2名	2名	3名
年間支給額	USD \$15,000 まで	USD \$15,000 まで	USD \$30,000 まで

【応募資格要件】

次に掲げる要件を全て満たす者としします。

- ・応募時に京都大学工学部または大学院工学研究科に在籍している者或いは同校を卒業・修了した者。
- ・日本国籍保持者又は永住権取得者。
- ・奨学生採用内定後、同年(Ph.D.取得型の場合は翌年)から留学を開始する者。なお、本学を卒業・修了後、既に留学を開始し、北米又は英国で現在研究を続けている者や本学を卒業・修了し、現在京大で研究を続けている者も対象とする。
- ・北米又は英国の大学院又は大学院同等の研究機関で研究を行うことを志望している者。
- ・Ph.D.取得型の場合は、北米又は英国の大学で博士学位を取得することを志望している者。
- ・学業、研究内容が工学系分野に関連していること。
- ・私費留学であること。現在既に国費留学や企業派遣が内定されている、或いはこれから応募の予定がある場合は、本奨学金は受給できないものとする。また、本奨学金の受給により国費留学・企業派遣の制度の条件によっては、国や企業から資金の支給がなされない可能性もあることに留意すること。

他の民間財団、機関等からの奨学金や支援資金の受給が確定或いは予定している場合は、本奨学金制度の応募時点で当該奨学金等の詳細情報を応募用紙に下記内容を記入して申し出ること。（併給は可。）

- 追加の資金援助の為に応募した機関・奨学金制度の名称
- 応募の時点で判明している奨学金・支援資金の額

- ・英語能力の最低基準（TOEFL/IELTS 等の最低スコアラインなど）は設けないものの、英語能力は選考段階において重要な判断基準となる。応募時点で英語の最低水準はないが、選考された奨学生は渡米直前の段階において、渡米直後の生活や学業及び研究に支障をきたさない程度の英語力を身に付けていることが期待される。
- ・年齢制限無し。

【その他留意すべき点】

- ・受入れ大学や研究機関が決まる前に本奨学金に応募する場合は、希望の大学/研究室（アプライする予定の大学/研究室）の第1希望から第4希望までを応募用紙に記載すること。一次審査の選考過程においての参考情報として、使用されます。

【応募方法】

応募者は次に掲げる書類を PDF 化し、Email にて京大コラボ宛 (contact@kyodai-collaborative.org) まで直接申請すること。

*お問い合わせは r.okayama@kyodai-collaborative.org 岡山まで

- ① 応募用紙（ウェブサイトに掲載の定型用紙を使用すること。）
- ② 英文のカバーレター及び CV（経歴、実績や受賞歴、研究プロジェクトや研究成果等が記載されたもの、書式自由）
- ③ 推薦書（担当指導教員等からの、様式自由。1～2 ページ程度。）
- ④ 研究内容の詳細・重要性について英文で書かれた文書或いは研究論文の概要（A4、2～3 ページ程度、将来の目標とキャリア志向についても最後に触れること。）
- ⑤ 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書（共同研究枠の場合は、不要）
- ⑥ 成績証明書（直近のもの）
- ⑦ 留学・研究先の合格証明書・レター、受入承諾書（応募時に既に合格・承諾を得ている場合。Ph.D.取得型の応募者は本奨学金に採用された後に大学から合格通知を頂いた場合は、速やかに進学予定の大学からの合格証明書・レター、受入承諾書を京大コラボに提出するものとする。）
- ⑧ 語学試験（TOEFL/IELTS 等）のスコア票（コピー可、応募締切時の2年以内に発行されたもの）

《提出期限》

Ph.D.取得型：	<u>2025 年 9 月 30 日（火）米国 ET 必着</u>
共同研究型：	<u>2025 年 10 月 31 日（金）米国 ET 必着</u>
ポスドク研究型：	<u>2026 年 1 月 31 日（土）米国 ET 必着</u>

【選考・採用内定プロセス】

選考プロセスと日程は下記の通り。

	一次審査	二次審査（面接）	合格者決定
Ph.D.取得型	2025 年 10 月	2025 年 10 月下旬～11 月上旬	2025 年 11 月下旬
共同研究型	2025 年 11 月	2025 年 12 月	2025 年 1 月
ポスドク型	2026 年 2 月	2026 年 3 月	2026 年 4 月

※ 一次審査は書類選考。

※ 二次審査の面接は一次審査合格者を対象にオンラインにて実施。二次審査の具体的なスケジュールについては、一次審査合格者に対して別途Eメールにて連絡します。
二次審査合格者を本奨学金制度の内定奨学生として、Ph.D. 取得型、共同研究型、及びポスドク研究型について上記のそれぞれの合格決定月に決定し、合格者に通知致します。

以 上